

## 農学部シラバス様式

授業科目 ( 授業科目英文 )	農産物貿易論 International Trade of Agricultural Products
授業形態 必修・選択の別 開講期 担当教官所属氏名 教官連絡先 オフィスアワー	講義 選択 6期 生物生産学科・農業経営経済学講座・岩元泉 Tel:285-8626またはE-mail:izumi@agri.kagoshima-u.ac.jp 毎週金曜日午後
授業概要	戦後世界の農産物貿易の枠組みの形成、貿易理論、世界貿易機構の成立、貿易紛争、貿易ルール・協定などを学び、世界の農産物貿易における日本の地位、各国の貿易戦略などを学ぶ
授業目標	1.農産物貿易の枠組み、ルール、制度について知る( WTO体制 ) 2.農産物貿易の現状を知る 3.農産物貿易体制の自由化がもたらす功罪について学ぶ
学習順序	1.授業目標、概要など授業計画の説明および現代農産物貿易の課題( 10月7日 ) 2.戦後農産物貿易体制( ガット )(10月14日) 3.WTO体制の成立( ウルグアイラウンド合意 )(10月21日) 4.WTO農業協定(10月28日) 5.SPS協定、TBT協定と予防原則(11月4日) 6.貿易紛争・セーフガード・アンチダンピング(11月11日) 7.WTO農業交渉の現状・非貿易的関心事項(11月18日) 8.中間試験(11月25日) 9.日本の農産物貿易(12月2日) 10.開発輸入の実態(12月9日) 11.多国籍企業による農産物貿易(12月16日) 12.地球環境と貿易問題(1月13日) 13.南北問題と貿易( 飽食と飢餓 )(1月20日) 14.新しい貿易秩序とフェアトレード(1月27日) 15.期末試験
評価	( 各評価項目とその評価比率を示す ) 1.出席 ( 30% ) 2.試験 ( 70% ) 3. ( % )
備考	1.テキストなし 2.プリントを配布します 3.

